ゆり組の様子

９月から設置したあさひっこラボコーナー。年長児が遊ぶ姿を見て、自分達でも絵や図形を鏡に映したらどうなるのかを考えてみたり、自分たちの顔を映して遊んだり、工夫しながら鏡遊びを楽しんでいました。

以前からよく遊んでいるキュボロですが、2 学期に入り友達と一緒に作る中で自分のイメージややってみたいことを共有して遊ぶことが増えてきました。「つづきをします」の札を置き、その時だけで終わるのではなく、遊びを継続して楽しむことが増えました。

掃除の時間。板の目に沿って雑巾がけをすることが上達してきました。友達や保育者と一緒に雑巾がけ競争をして楽しみながら掃除をしています。ほうきや雑巾、ゴミ拾いなど、様々な物がある中で友達とやりたいものが同じ時もあります。時計を見て長い針がどこになったら交代をするなど、自分達で折り合いを付けて関わる姿も見られるようになりました。

室内遊びの時間では部屋だけでなく、テラスで遊ぶ姿も見られます。この日は新聞紙を丸めてボールに見立て、互いにパスする遊びをしていました。相手との距離感も考えながら投げる強さを調整したり、遊びのルールを自分達で決めて楽しんだりすることが増えてきました。

運動会の楽しかった場面、思い出に残っている場面を絵に描きました。友達と話す中で自分の思い出を共有したり、友達の思いを知ったりしていました。運動会後も体操の歌を友達と口ずさんだり、布を使ってパラバルーンのように遊んだり、年少と一緒にパラバルーンをしたりと、遊びを継続して楽しんでいます。

戸外遊びでは、固定遊具や鬼ごっこなど、普段から園庭でしている遊びだけでなく、身近な素材を使い、性質や仕組みを考えて遊びを楽しむこともありました。

野菜の水やりを通して、植えたばかりの頃との違いに気付いたり、畑にいる虫を見つけて友達と感じたことを話す姿も見られました。芋苗植え、芋ほり、野菜を育てるといった活動の中で植物に興味をもったり、それだけでなく虫などの様々な自然に興味をもち、それらを友達と共有して楽しむことが増えました。

好きな絵を描いてゆったりと過ごすこともありました。絵が完成すると友達と見せ合い、何の絵を描いたか紹介する姿も見られました。途中で片付けの時間が来ると、続きは次の遊び時間にすることを自分で決めるなど、気持ちの切り替えをすることができるようになってきました。